

JAMSNET 参加団体紹介

第 22 回

JB Line, Inc. 日系ポストニアン・サポートライン

日系ポストニアンサポートラインは、2万人以上いると言われるニューイングランド地方の日本人および日系人を中心とした人々の生活上の問題解決を援助するために2010年10月26日に設立された非営利団体です。2012年5月9日には501 (c) (3) の非課税・非営利団体としてIRS より認可されました。日米どちらかで専門教育を受けた対人支援の専門家15名と65名の一般ボランティアが活動をしています。

JB Line, Inc. のミッション

ニューイングランド地方に住む日本人・日系人を中心とした人々のニーズに応え、生活の向上を目指します。相談者に情報を提供し、適切な社会資源につなぎ、直接支援も行ないながら、相談者が日常生活で直面する問題に対処できるようにお手伝いします

このミッション (使命) を実現するために、JB Line, Inc. は次のことを行なっています。

平等な対応の保障

相談者が人種、性別、障害、出身地、言語、セクシャルオリエンテーション、年齢、宗教、社会経済的地位、あるいは婚姻状況などで差別や区別をされることは一切ありません。

匿名性の保障と秘密保持

相談者の個人情報と相談内容は固く守られます。ただし自傷や他害の恐れがあると判断された場合は、JB Line, Inc. は法律に基づいて関係機関に報告する義務があります。

相談者自身の解決能力に対する信頼と主体性の推進

JB Line, Inc. は相談者が自分のために決断する能力と権利があると信じています。相談者の自己決定を援助するサポートを目指します。

正確で最新の情報の提供

JB Line, Inc. は可能な限り現時点で最も正確な情報を調べ、相談者の必要に応じた適切なリソースを紹介します。

適正なスタッフの育成

心理学、カウンセリング、ソーシャルワークなどの対人援助の専門を持ち、24時間ホットラインに応えるスタッフは、定期的な勉強会を実施し、スキルの向上に努めています。またスタッフの対応能力を超える相談内容については、スーパーバイザー (広い経験を持ち指導的な立場にあるもの) が指導的介入を行なっています。

JB Line, Inc. のサポート

24時間対応のホットライン

JB Line, Inc. のホットラインは毎日24時間日本語と英語で相談を受け付けています。相談に応じ必要な情報を提供したり、相談者が面している心の悩みを傾聴します。

ケースマネジメント

電話やメールだけでは対応できない問題に関しては、直接お目にかかり相談者のニーズに合わせたサポートプランを検討します。例えば、適切な医療サービス・健康保険・福祉・法的なサポートなどに必要な情報提供とあわせて、各機関への同行や通訳などJB Line, Inc. ができるサポートを提案・提供します。また言語・文化・システムの違いを理解する・あるいは相手機関 (裁判所・病院・学校・福祉事務所・ドメスティックバイオレンス [DV] やメンタルヘルスの非営利団体など) に理解してもらう橋渡し的なお手伝いもいたします。また、必要に応じてさらに専門性を持ってサポートを提供してくれるリソースへも責任を持ってお繋ぎします。

個人面談 (カウンセリング)

JB Line, Inc. では Arlington のオフィスでのカウンセリング (個人・

カップル・ファミリー) を提供しています。ご希望に応じてご自宅、Women's Center あるいは遠方の場合は Skype などで行なうことも可能です。他州への訪問面談も行ないません。また、DVを目撃することで深く傷ついたお子さんのカウンセリングも、そのお子さんに合わせ直接にサポートしたり、カウンセラーを探したり、児童精神科へ紹介したりします。

シニア訪問

JB Line, Inc. のボランティアは定期的にシニアのご自宅やシニアホームを訪問させていただいています。

サポートグループ

JB Line, Inc. では毎月次の2つのサポートグループを開催しています。

○女性のためのサポートグループ: 離婚・DV・経済的問題などについて話します。

○シニアのためのグループ ([わ] の会) : 月に一度のおしゃべりの会。

アウトリーチ・ミーティング

JB Line, Inc. ではニューイングランドにおける日本人・日系人の生活向上のため、様々な教育普及活動およびミーティングを独自に、あるいは他機関と協力して不定期に行なっています。

JB Line, Inc. のこれまでの活動

2010年10月の設立より2013年9月末までの相談電話件数はのべ1,612件 (月平均約44件) でした。電話相談受付だけで解決せずに直接的な支援をしたケースは同じく2013年9月末までで115件 (年間平均で38件)。生活上の相談・医療・メンタルヘルス・育児・DVなどが相談内容としては多いものにあがります。これら115件の直接的にサポートをさせていただいた件数の中で現在も長期的に支援を続けているのは21件となります。実際に私どもが病院、裁判所や警察、他の現地の非営利団体などに相談者の付き添いとして参りましたのもこの3年で156回を数え、シニアホームには340回訪問をしています。

JB Line, Inc. の今後

急務であった法人としての法的整備やオフィスの設置などが無事に済み、JAMSNET のメンバーとしての活動もしています。2013年10月よりは在ボストン日本国総領事館と提携し、ハーグ条約・DV・親権の問題を抱える方のサポートをしっかりと提供して参ります。また、NY のシニアウィークやヘルスフェアにあたるような日本人・日系人コミュニティにとって有意義なリソースを提供する場を作りたいと考えています。

JB Line, Inc.

Tel: (781) 296-1800 (365日いつでも) Fax: (781) 648-4315

180 Massachusetts Avenue, #303

Arlington, MA 02474

www.jbline.org (Japanese)

http://www.jbline.net (English)



JAMSNET (ジャムズネット) ホームページ
http://jamsnet.org/index.php